

12月の主な行事

- 12月 6日(金) 工賃支給日
- 7日(土) 土曜利用日
- 20日(金) クリスマス会・誕生会
- 27日(金) 仕事納めの式
- 28日(土)～1月5日(日) 年末年始休業

12月誕生月のみなさん

おめでとうございます

永井勇基さん 本田真由美さん
氏家絃希さん

誕生日おめでとうございます。誕生会は12月20日にクリスマス会にあわせて、1月生まれの方と一緒にを行います。お楽しみに。

地震の揺れを体験！！



揺れが治まって安心する利用者さん

起震車に乗る利用者さんと職員(写真中央)、その様子を見守る消防署員(手前の2人)

11月15日に、ほとぼら授産所とだての郷合同総合避難訓練を行いました。この訓練は通常の訓練より具体的に実践形式で行うもので、今回は大きな地震が発生、揺れの間、作業場で机の下に隠れ身を守り、揺れが治ったら施設倒壊の危険があり広場に避難、そのうちにだての郷厨房から火災が発生、119番通報し、さらに安全なところに避難する訓練を行いました。利用者の皆さんは、落ち着いて行動し、避難することができました。

その後、今回の災害想定が大地震だったので、この日は伊達地方消防組合様のご高配で、福島県内に1台しかない起震車による地震の揺れの体験を行いました。利用者さんの中から希望する人が職員と一緒に乗って、揺れを体験しました。阪神淡路地震や新潟中越地震などを再現してもらい、その揺れを体験しました。揺れは徐々に大きくなり最大震度まで達すると机にしがみつ



本日最大の揺れを体験する皆さん 講評をお話する消防署員

こらえるのがやっとで、揺れが治まるようお願いながら乗ってました。この日の起震車体験、最後の回では一番大きな揺れを再現することになり、1923年（大正12年）の関東大震災の揺れをほどはら授産所の利用者さんが体験しました。

起震車体験後、伊達地方消防組合中央消防署署員から全体的な講評と、避難する際のポイントは慌てず冷静になって避難するようにとのお話がありました。最後に伊達中央消防署から来ていただいた署員の皆さんに利用者代表から御礼の言葉があり、無事訓練を終えることができました。



起震車をバックに集合写真

秋の花市ウィーク 今年も賑わう



パンジーの色を考えながら選ぶお客様（写真中央の2人）



お客様のお手伝いをする利用者さん④

11月11日から16日までの6日間にわたって秋のほどはら花市ウィークを開きました。今年も秋販売用の花の種まき後、夏の猛暑の影響を受けましたが、昨年の体験を踏まえ種のまき直しや温度管理等行い、昨年に引き続き1か月遅れの花市となりましたが、パンジー、ピオラ、つりがねそうの販売を行うことができました。期間中、多くの皆さんが花苗を求めて密訪れ、色合いを考えながら、それぞれのお花をお買い求めいただきました。遠くは福島、白石市からも来ていただき、花苗購入の輪が広がってきています。

レジでは花市に合わせて手工芸班の自主製品刺し子ふきんやトイレットペーパーの販売も行い、こちらのコーナーも多くの方にお買い上げいただきました。

楽しくお出かけ 社会見学行う



小物・アクセサリー売り場で品物を選ぶ利用者さん



地元産野菜コーナーでお土産を選ぶ利用者さん



レジで支払いをする利用者さん



お買い物を終え休憩する皆さん

食品売り場で品物を選ぶ利用者さん（上の写真3枚）

11月22日、好天に恵まれた週末の金曜日、通常の午前中の作業時間に利用者さん全員で社会見学を行いました。今回の目的地は、県北地方の道の駅で一番の集客を誇る福島市大笹生の道の駅ふくしまに出かけました。これまでコロナ禍で自粛していて、この行事は5年振りとなりました。利用者の皆さんは朝の出勤時から楽しみにしていて、朝の会終了後、男性利用者がマイクロバスに、女性利用者がワゴン車に分乗して出発しました。途中車窓からくだもの畑に実ったリンゴや柿の様子や、道路沿いや遠くの山の風景を見ながら、目的地に到着。就労活動班ごとに道の駅の中を自由に見て回りで、おみやげを買ったり自販機コーナーで飲み物を買ったりして、フードコートやフリースペースで自由に過ごすことができました。

今回の社会見学で、道の駅の活動を通して社会性を身につけ、利用者さん同士の親睦を深め、道中の景色を見ながら秋の季節を感じることができました。この日午前中にほどはら授産所に戻り、給食を食べ、午後は通常どおりの日程で作業をしました。

人権擁護研修会開く



はじめに島さん㊦が講話をしました



グループ討議をする職員のみなさん



研修のまとめのお話を聞く職員のみなさん

11月21日、当法人だての郷・ほどはら授産所・グループホームスクラムの職員を対象に、利用者さんへの虐待防止・人権擁護に関する研修会をほどはら授産所で行いました。

当日は、ふくしま基幹相談支援センター相談支援専門員 島 一眞氏を講師に迎え、虐待の定義、利用者さんへの接し方などの講話と、4グループに分かれ自分たちが選んだテーマで討議の時間を設け、利用者さんへの心くばり、人権を守る言葉かけや支援の仕方について話し合い、利用者さんの人権擁護・虐待防止への理解を深めました。普段の接し方について見方を変えた場合、虐待事案になる可能性もあります。細かいことであっても、気をつけて接することの大切さを学びました。

ほどはら冬の花便り



真冬のお花は心を温めてくれます。ぜひお買い求めください
(パンジー㊦) (つりがねそう㊦)

ほどはら授産所のパンジー・ピオラは、今夏の猛暑により大変生育が遅れました。

花市ウィーク（秋）の期間を遅くしてみました、それでも生育が間に合わず12月に入り、ようやく販売できるようになりましたのでお知らせいたします。

各色取り揃えておりますので、ぜひ、お求めいただければ幸いです。

1ポット77円（税込）です。

お近くの方にもお声かけいただき、お誘いあわせて、お買い求めください。

（農耕園芸班：松浦幹樹職業指導員）

編集後記 / 月めくりカレンダーも

12月1枚になってしまいました。この一年間を振り返って、楽しかったこと、反省したこと、やり残したことなど、それぞれあるかと思えます。この一年を振り返ると利用者さんにとってコロナ禍から一歩抜け出し、遠足や社会見学ができて良かったと思えます▼起震車体験は乗った後足が震えて心配でしたが、この揺れを経験しておくことで落ち着いて地祇避難ができるようになると思えます。貴重な体験でした▼皆様には、本紙を1年間お読みいただきありがとうございました。施設と利用者さんとそのご家族、地域の皆さんを結ぶ懸け橋になっていけたらと思えます。来年もどうぞよろしくお願います。良いお年をお迎えください。
(M)